

Kawasaki Robot e-News はカワサキロボットのお客様に有益な情報やホットな話題を提供する電子情報誌です。



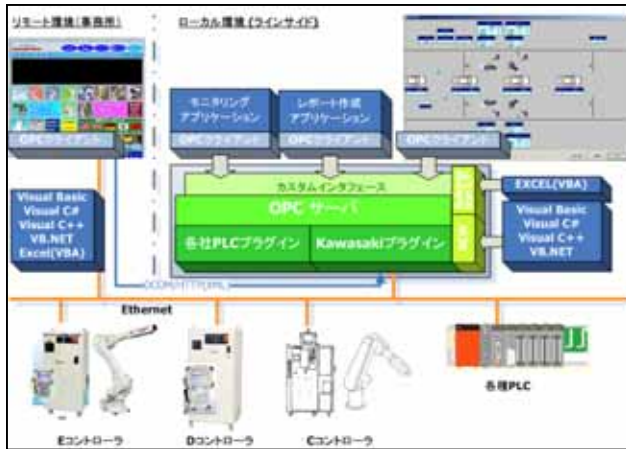
新製品 RS05L を新発売

カワサキは小型汎用ロボットRS05Lを新発売しました(写真右)。このRS05Lは最大可搬質量5kgの小型ハンドリングロボットです。当社の最小機種RS3N(可搬質量3kg)とRS6N(同6kg)の間を補間する小型・高速ロボットに対する要望がありました。このRS05Lはその市場の声に応じて開発されたものです。コンパクトなアームと高速動作が最大の特長です。昨年末の国際ロボット展でプロトタイプを出展しましたが、開発が完了し、このたび発売となったものです。

また、よりコンパクトなRS05N(可搬質量5kg)と、パレタイズ用RD80N(同80kg)も近々発売する予定です。



便利なソフトの紹介 (OPC サーバー)



カワサキはロボットコントローラ対応したPC用ソフトウェア・ライブラリーである『OPCサーバ』をリリースします。お客様がロボットコントローラのデータをモニタするソフトウェアを開発される場合に活用いただけます。このOPCサーバは日英の両言語に対応し、カワサキの最新コントローラ(Eコン)のみならず、旧型のC、D及びD+コントローラにも対応しています。OPC(OLE for Process Control)は、異なるベンダの機器で実行されるアプリケーション間のインタフェースを標準化し、モニタリング、レポート作成などのアプリケーション作成を容易にすることを目的に開発された技術です。

例えば、カワサキロボットの位置情報をモニタするソフトを開発するにはコントローラの通信方法とOSに関する専門的なプログラミング知識が必要でした。しかし、OPC技術導入によりこれらが不要になるため、

開発言語や開発環境などに依存しない統合的に利用できるプロセス制御ソフトを短期間で開発できるようになります。



適用ビデオ・ライブラリー AVL v2



カワサキは適用ビデオライブラリー(AVL)v2.0をリリースしました。AVLは様々な適用事例を世界中から200例以上集めて収録したデータベースで、カワサキの営業マンやエンジニアがPC上で利用できるライブラリーです。カワサキの適用技術が多く詰まったものですので、一般に配布するものではありませんが、お近くのカワサキの営業拠点にコンタクトしていただければ、お客様のご計画の参考になる適用事例がご覧になれます。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。



海外販社紹介 (米州)

Kawasaki Robotics (USA), Inc. は1990年に設立され、今年で設立20周年を迎えます。汎用ロボットの拠点をミシガン州Wixomに、クリーン(ソーラ含む)ロボットの拠点をカリフォルニア州San Joseに構えています。そして、稼働している2万台以上のロボットにサービスを提供する拠点を7ヶ所(カナダ・メキシコ含む)に配備しています。

100名強の現地スタッフがお客様に満足していただける製品・システム、技術、サービスを提案・提供することによって、お客様にカワサキロボットをご愛顧いただいています。写真(右下)はWixom本社事務所、写真(上)は本社で出荷を待つロボットたち。(Website: www.kawasakirobotics.com)



川崎重工業(株) ough ビジネスセンター

〒673-8666 兵庫県明石市川崎町1-1
電話 (078)921-2946 Fax (078)923-6548



(株) カワサキマシンシステムズ

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-15-9
電話 (03) 5807-7171 Fax: (03) 5807-7170

URL: www.khi.co.jp/robot/

